

平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年4月26日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 諸富 滋 TEL 03-3282-0009

四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	87,111	△24.2	18,039	△17.7	16,575	△25.5	8,514	△42.4
23年12月期第1四半期	114,862	15.7	21,909	90.1	22,252	86.4	14,785	144.2

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 15,003百万円 (△2.7%) 23年12月期第1四半期 15,426百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	15.46	15.45
23年12月期第1四半期	25.95	25.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	664,765	542,010	81.4
23年12月期	658,873	540,023	81.8

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 540,913百万円 23年12月期 538,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	-	10.00	-	10.00	20.00
24年12月期	-	-	-	-	-
24年12月期（予想）	-	10.00	-	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	163,000	△12.5	22,500	△24.8	19,500	△35.5	8,500	△52.0	15.46
通期	326,000	△5.2	48,000	3.0	42,500	△9.1	20,000	△21.9	36.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	576,483,555株	23年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	29,020,484株	23年12月期	21,037,327株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	550,721,704株	23年12月期1Q	569,783,916株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年1月1日から3月31日までの3か月間）における我が国経済は、欧州債務危機や原油高の影響による海外景気の下振れ懸念など依然として厳しい状況にありながらも、個人消費が底堅く推移するなど緩やかな持ち直し基調で推移しました。

医薬事業では、ジェネリック医薬品の使用促進や欧米製薬企業や専業大手の攻勢、国際的な新薬開発競争の激化など、引き続き厳しい競争環境となっておりますが、主力製品の販売拡大及び新製品の早期市場浸透を図るとともに、グローバル展開を積極的に推進しました。バイオケミカル事業では、為替変動の影響を受けておりますが、医薬・医療・ヘルスケア用途を中心とするアミノ酸、核酸関連物質等の高付加価値品の拡販を図りました。ヘルスケア製品では、「オルニチン」など競争力の高い素材を中心とした通信販売リメイクシリーズの強化に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、前年3月末に化学品事業（前年同期の売上高335億円、営業利益21億円）が連結除外となった影響もあり、売上高は871億円（前年同期比24.2%減）、営業利益は180億円（同17.7%減）、経常利益は165億円（同25.5%減）となりました。また、四半期純利益については、前年計上した関係会社株式売却益がなくなった影響もあり、85億円（同42.4%減）となりました。

なお、3月27日に富士フィルム(株)との間で設立したバイオシミラー医薬品の開発・製造・販売の合弁会社（関連会社）である協和キリン富士フィルムバイオロジクス(株)を新たに持分法の適用範囲に含めております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

国内の医療用医薬品では、腎性貧血治療剤「ネスプ」、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグパラ」、経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「フェントス」、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」等が伸長しましたが、花粉飛散量が少なかった影響等に加えて、前年同期は震災後に一時的な出荷増があったことから、抗アレルギー剤「アレロック」及び抗アレルギー点眼剤「パタノール」の売上高は前年同期を大きく下回りました。

医薬品の輸出及び技術収入では、輸出が堅調に推移したことに加えて、協和キリン富士フィルムバイオロジクス(株)からの技術収入を計上したため、前年同期の売上高を上回りました。

また、前年6月末から連結をしたProStrakan Group plc及びその子会社10社は、概ね計画どおり堅調に推移しており、売上高は35億円、営業損失（のれん等償却後）は10億円となりました。

この結果、医薬事業の売上高は、648億円（前年同期比2.3%増）となり、営業利益は166億円（同9.7%減）となりました。

新薬の開発では、がん領域では、国内において、3月に成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）治療剤「ポテリジオ」の承認を取得しました。また、協和メデックス(株)では、3月に「ポテリジオ」の投薬を判断するための補助に使用される体外診断用医薬品「ポテリジオテスト」の承認を取得しました。腎領域では、国内において、2月に2型糖尿病を合併する慢性腎臓病を対象としたRTA 402の第Ⅱ相臨床試験を開始しました。中枢神経系領域では、国内において、3月にパーキンソン病治療剤「アポカイン」の承認を取得しました。また、3月にパーキンソン病治療剤KW-6002の承認申請を行いました。

バイオケミカル事業

アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料は、円高による影響を受けたものの、アジア向けの輸液用アミノ酸や医薬用原料の旺盛な需要に支えられ、売上高は前年同期を上回りました。

ヘルスケア製品では、「オルニチン」をはじめとする通信販売リメイクシリーズが好調に推移したことなどから、売上高は前年同期を上回りました。

第一ファインケミカル(株)は、医薬品原薬・中間体等の伸長により、売上高が増加しました。

この結果、バイオケミカル事業の売上高は、205億円（前年同期比4.6%増）となり、営業利益は13億円（同2.4%増）となりました。

その他事業

その他事業の売上高は、25億円（前年同期比3.5%減）となり、営業利益は0億円（同13.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ58億円増加し、6,647億円となりました。流動資産は、資金運用としての親会社への短期貸付金が減少しましたが、受取手形及び売掛金や棚卸資産の増加により、前連結会計年度末に比べ50億円増加し、2,892億円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加等により8億円増加し、3,755億円となりました。

負債は未払金が減少しましたが、支払手形及び買掛金や賞与引当金が増加したため、前連結会計年度末に比べ39億円増加し、1,227億円となりました。

純資産は、自己株式の取得や配当金の支払い等の減少要因もありましたが、四半期純利益の計上及び為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ19億円増加し、5,420億円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント減少し81.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月31日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,063	28,607
受取手形及び売掛金	99,109	107,495
商品及び製品	36,840	40,050
仕掛品	12,232	12,630
原材料及び貯蔵品	9,907	9,888
繰延税金資産	8,629	8,959
短期貸付金	82,958	74,048
その他	8,067	8,147
貸倒引当金	△591	△568
流動資産合計	284,217	289,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	129,190	129,676
減価償却累計額	△91,855	△92,735
建物及び構築物（純額）	37,334	36,940
機械装置及び運搬具	139,796	140,410
減価償却累計額	△120,761	△122,101
機械装置及び運搬具（純額）	19,034	18,309
土地	53,954	53,959
建設仮勘定	6,221	8,311
その他	46,967	47,449
減価償却累計額	△40,569	△41,034
その他（純額）	6,398	6,414
有形固定資産合計	122,943	123,935
無形固定資産		
のれん	177,267	176,878
販売権	29,025	30,387
その他	4,324	4,057
無形固定資産合計	210,616	211,322
投資その他の資産		
投資有価証券	24,818	24,205
繰延税金資産	6,680	6,544
その他	9,958	9,857
貸倒引当金	△361	△359
投資その他の資産合計	41,096	40,247
固定資産合計	374,656	375,505
資産合計	658,873	664,765

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,341	30,360
短期借入金	5,943	6,032
未払金	31,009	23,001
未払法人税等	7,821	8,704
売上割戻引当金	667	752
ポイント引当金	167	192
賞与引当金	161	4,040
その他	5,254	6,900
流動負債合計	78,366	79,985
固定負債		
長期借入金	98	104
繰延税金負債	10,926	11,387
退職給付引当金	20,654	20,167
役員退職慰労引当金	94	97
環境対策引当金	737	737
資産除去債務	654	656
その他	7,317	9,616
固定負債合計	40,484	42,768
負債合計	118,850	122,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	512,348	512,329
利益剰余金	34,956	37,917
自己株式	△19,194	△26,501
株主資本合計	554,856	550,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,144	△1,952
為替換算調整勘定	△12,841	△7,624
その他の包括利益累計額合計	△15,986	△9,576
新株予約権	250	129
少数株主持分	902	968
純資産合計	540,023	542,010
負債純資産合計	658,873	664,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	114,862	87,111
売上原価	58,217	32,094
売上総利益	56,644	55,016
販売費及び一般管理費		
研究開発費	10,814	11,022
のれん償却額	2,443	3,076
その他	21,475	22,878
販売費及び一般管理費合計	34,734	36,976
営業利益	21,909	18,039
営業外収益		
受取利息	65	142
受取配当金	57	318
為替差益	579	926
持分法による投資利益	166	—
その他	411	273
営業外収益合計	1,280	1,660
営業外費用		
支払利息	43	32
デリバティブ評価損	431	292
持分法による投資損失	—	2,465
固定資産処分損	165	115
その他	296	218
営業外費用合計	937	3,125
経常利益	22,252	16,575
特別利益		
関係会社株式売却益	8,265	—
特別利益合計	8,265	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	324
投資有価証券評価損	1,546	—
アドバイザー費用	973	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	447	—
過年度ポイント引当金繰入額	128	—
災害による損失	118	—
特別損失合計	3,214	324
税金等調整前四半期純利益	27,304	16,250
法人税等	12,496	7,719
少数株主損益調整前四半期純利益	14,808	8,531
少数株主利益	22	16
四半期純利益	14,785	8,514

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,808	8,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△316	1,193
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	941	5,279
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△0
その他の包括利益合計	618	6,471
四半期包括利益	15,426	15,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,384	14,924
少数株主に係る四半期包括利益	41	78

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	化学品	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	63,344	17,788	32,787	942	114,862	—	114,862
セグメント間の内部売上高	49	1,898	762	1,709	4,419	△4,419	—
計	63,393	19,686	33,550	2,651	119,281	△4,419	114,862
セグメント利益	18,419	1,272	2,135	82	21,909	0	21,909

注1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 化学品事業の報告セグメントに属していた協和発酵ケミカル(株)及び同社の子会社であるミヤコ化学(株)については、平成23年3月31日に、当社が保有する協和発酵ケミカル(株)の全株式を譲渡したことにより、当第1四半期連結会計期間末をもって連結の範囲から除外したため、化学品事業のセグメント資産の金額はなくなっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	64,822	20,178	2,109	87,111	—	87,111
セグメント間の内部売上高	47	410	448	905	△905	—
計	64,870	20,589	2,557	88,016	△905	87,111
セグメント利益	16,638	1,303	94	18,036	3	18,039

注1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、平成23年8月25日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、平成24年2月23日の買付をもって取得を終了しました。主にこの結果により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が7,307百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は、26,501百万円となっております。